



あれこれ

2015年 第2号
担当：長井支部

ふるさと探検隊 part24 (H27. 07. 04)

城下町鶴岡の散策です。

お恥ずかしながら、初めて鶴岡のまち中にお邪魔しました。

まずは、藩校致道館へ。

学びの場として使われてきた歴史ある建物ですが、教育の特色を聞いて身にしみました・・・。「子供は一人ひとり生まれつきの個性があり、それに応じ、その才能を伸ばす。知識の詰め込みではなく、自ら考え学ぶ意識を高める。」親として大事な考えです。娘と一緒にいった私は、Only Oneなのね・・・と、子の姿を見てしみじみでした。



次に致道博物館へ。

お天気も程ほどに良く、鶴ヶ岡城址や大宝館を眺めながらの移動です。重要文化財が一箇所に集まっているような所は珍しいのかなと思いながら、見学しました。酒井氏庭園は、お茶が飲める所もあり、ゆっくりと眺めていられる所でしたが・・・この度は残念ながら、其々見て歩くと時間となってしまいました。

お昼は、新茶屋へ。

お庭が綺麗な、老舗の懐石料理屋さんです。

お料理が出てくるまでの少しの時間、庭に出たり、建物見学したりと楽しめです。落ち着いた空間で頂くお料理は格別でした。

新茶屋さんのバスを出して頂き、鶴岡カトリック教会天主堂へ。

もう少し晴天であれば、青空に赤い屋根と白い壁が映えるシンボリックな建物です。オルガンの演奏がされ、高い天井に音が響き、心地よい空間です。スタンドガラスが印象的で、貼り絵という窓絵がある事を初めて知りました。



(長井支部：小笠原華奈子)

快適エコライフフェア in 寒河江 (H27. 07. 18、19)



東北電力(株)天童営業所お客様センターの川島課長から協力依頼があり、2日間に渡りお手伝いして参りました。参加業者さんは2日間の売上げ目標を掲げられる中、我々は「女性建築士によるエコライフ相談コーナー」というブースをいただき、相談にお答えするのはもちろんのこと、「みらいえ〜る」製のダンボールエコハウスキットを使用して、子ども達にたった一つのドリームエコハウスをつくってもらいました。最初は苦戦していてもだんだんと夢中になり、いろんなアイデアが満載のエコハウスは私たちが初心に帰らせてくれたような気がします。

(長井支部 守屋由美)

平成27年度 第2回東北ブロック会女性委員会 (H27. 09. 05)

～宮城県沿岸部復興状況視察(山元町～仙台市)～

各県から27名が参加した一行は、まず、仙台市青葉区折立を通りバス内より復興状況を視察しました。段差が付いていた土地や道路も多方修復されて新築した家なども見受けられました。仲良く歩く親子の姿がほほえましく、あらためて災害が繰り返されないことを願います。

次に向かったのは福島県との県境で、海岸から100Mほどの位置にある山元町立中浜小学校。震災当時の姿をそのままに残していて、津波被害の恐ろしさを目の当たりにしました。ここでは生徒、職員らが校舎の屋根裏倉庫に避難し難を逃れたというものの、津波は2階建ての2階天井まで達していて、子どもの命を救った学校側の判断がぎりぎりながらも、一人の被害者も出さずに済んだという話に涙しました。



昼食は、「巨理いちごっこ」のお弁当を、岩沼市の「千年希望の丘」で食べました。

「巨理いちごっこ」：罹災者に温かなバランスのとれた食事の提供と地域内外のコミュニティの場創出のために立ち上がりました。被災地内外と繋がり、東日本大震災からの復旧・新興を果たすことを目的としています。

「千年希望の丘」：東日本大震災の悲劇を二度と繰り返さないという思いと、数々の教訓を千年先まで伝える岩沼市の復興プロジェクト。沿岸部に震災廃棄物を再生活用した小高い丘を造り、津波の力の減衰と非難場所の確保、防災のメモリアルとして整備を進めています。

最後に「里海荒浜ロッジ」にて貴田さんから話をうかがいました。元住民の貴田喜一さんは震災後、自宅跡に小さなプレハブ小屋の「里海荒浜ロッジ」を建てました。ロッジには住民らが月に1度集まり、海岸や集落跡のゴミ拾いをしたり、荒浜の今後について議論したりする場所となっています。

今回の視察では、仙台市「中野五丁目津波避難タワー」の視察も予定されていたのですが、各視察地で質問等が多く、時間が足りず回ることができませんでした。機会があれば是非訪れたいと思います。

(西村山支部 大泉みどり)

平成27年度 第25回全国女性建築士連絡協議会 (H27. 09. 25、26)

未来へつなぐ居住環境づくり～次世代へ伝えたい、こと・もの・暮らし～

今年度の全建女は国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、4名で参加して参りました。今年の山形県はD分科会「素材と環境共生住宅」でのコメンテーターという大役を仰せつかっており、事前準備として金山町へ訪問し、金山杉や金山杉住宅について森林組合の杉井参事や金山杉住宅をつくる会の阿部会長、環境整備課の西田課長からお話をお聞きしました。その内容をまとめ上げての分科会は地場産材の利活用が注目されている中、金山杉に対するこだわりから金山杉を上手に活かした町や企業の取り組みまでをうまく発表できたのではないかと思います。この分科会を機にこの取り組みを少しでも参考にいただき、金山町始め山形県に訪れる方も増えてくれるといいですね。また、ダンボールエコハウスのワークショップについても発表し、参考資料として実物のキットを1セット持っていったのですが、じゃんけん勝者が持ち帰る事になる程で、反響の高さを感じてきました。

(長井支部：守屋由美)

